

所属・資格 中国語中国文化学科・教授

申請者氏名 神谷 まり子

研究課題		近代中国通俗文学における旅行小説に関する研究
報告の概要	研究目的 および 研究概要	清朝末期から中華民国初期にかけて出版された中国通俗文学について、特に1930年代に登場した張恨水の作品を中心に扱った。なかでも『旅行雑誌』に掲載された「平滬通車」「蜀道難」を取り上げ、旅行小説としての特徴と、女性表象と乗り物の関係を検討することを目的とした。
	研究の 結果	本研究の結果、以下のような知見が得られた。 ① 『旅行雑誌』に掲載された張恨水による全旅行小説が、当時の旅行文化と娯楽小説の要素をともに反映したものであること ② 1930年代における中国国内の交通事情および戦時中の変化により、旅行を取り巻く環境が大きく変貌したこと ③ ①②と合わせ「平滬通車」「蜀道難」を検討した結果、作品の成立およびテーマが旅行をめぐる国内状況を反映したものであり、また女性像をめぐる「移動」のテーマが反復して描写されたこと
	研究の 考察・ 反省	上記に記した研究目的・概要について、現在日本国内で収集可能な資料をすべて検証することができた。一方、海外での調査が必要な部分については、次年度以降に調査を進め、さらに研究を深めてゆく所存である。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所  研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	<p>※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。</p> <p>研究発表 日本中国学会・第76回大会 「「平滬通車」「蜀道難」における女性と移動の表象をめぐる」 2024年10月13日/二松学舎大学</p>	